

平成 30 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ
語学・大学留学コース 3月レポート
「March comes in like a lion, and goes like a lamb」

土屋 美月

皆様、こんにちは。オハイオ州奨学生の土屋美月です。3月の月例レポートです。日本は3月といえば卒業シーズンですが、こちらの学年暦は全く異なり、通常どおりの授業と生活を送っていました。いよいよフィンドレーでの生活も終わりに近づいていることを少しずつ実感しています。(先日日本への帰国のフライトを予約し、帰るのだなあとしみじみしてしまいました。)さて、今月のレポートではジャズバンドのコンサート、そして一大イベント International Night についてをお伝えしていきたいと思います！

ジャズコンサート



今月末に、2学期間かけて毎週練習していたジャズバンドの集大成であるコンサートを行いました。計17曲を披露しました。大学内の大きなホールで演奏し、お客さんもたくさんいらしてくれて、楽しんでいただけた様子だったのでよかったです。

このバンドは週1回2時間ほどの練習をしていました。メンバーみんながすごく上手で素晴らしいプレイヤーばかりでしたが、みんな Music Major ではなく薬学部や看護学部などさまざまな専攻の学生と地元の方で形成されたバンドでした。はじめは自分の実力に自信もなく、みんなの足を引っ張ってしまうかもしれない不安も大きかったのですが、メンバーや先生はいつもほめてくれて、私も徐々にプレッシャーから解放されて、特に今学期に入ってから、メンバーとの距離がぐっと近づいた気がしていました。ソロパートもたくさんいただいて、本番も自分の思った演奏ができ、メンバーだけでなく観客の方からもよかったというお褒めの言葉もいただけて、本当に嬉しかったです。音楽という言葉ではないもので、現地の学生とつながることができて、留学生として特別視されるわけではなく、対等な関係で接してくれることが本当にうれしく、居心地がよかったです。あと残り1回パフォーマンスが残っているので、悔いのないように頑張りたいと思います。

ソロパートもたくさんいただいて、本番も自分の思った演奏ができ、メンバーだけでなく観客の方からもよかったというお褒めの言葉もいただけて、本当に嬉しかったです。音楽という言葉ではないもので、現地の学生とつながることができて、留学生として特別視されるわけではなく、対等な関係で接してくれることが本当にうれしく、居心地がよかったです。あと残り1回パフォーマンスが残っているので、悔いのないように頑張りたいと思います。



International Night

この大学の留学生にとって非常に大きなイベントである、International Nightが開催されました。このイベントは Buford Center という留学生センターのようなオフィスが主催しており、地元の組合やテレビ等からも支援のあるような一大イベントで毎年学内外から 1500 人以上の参加者が集まります。今年は 50 年アニバーサリーということもあり、例年以上に盛り上がり



りました。このイベントは留学生がそれぞれ母国の文化を紹介するというのが主なテーマで、各国のブースを設けて郷土料理をふるまったり、アクティビティを設けたり、ダンスや歌といったパフォーマンスをステージで披露したりします。われらが日本チームは日本料理としてそばめしとお団子、日本の緑茶をふるまい、浴衣を着て数年前に大ヒットした星野源さんの「恋」に合わせて恋ダンスを披露しました。パフォーマンスも料理も大盛況で日本ブースには常にお客さんがいっぱいな状況でした。料理にいたっては開始 30 分ほどで完売となってしまったほどです。このように大学主催で、留学生がスポットライトを浴び、現地の



学生に異文化を知ってもらえる機会を設けているところはフィンドレー大学のいいところだと思います。私自身も日本文化について改めて考える機会にもなりましたし、様々な国の文化に触れることができてすごく楽しかったです。